

2015年1月15日

## 資生堂の新コミュニケーション基盤を NTT Com が構築 グローバル事業拡大に向け国や部門を超えた連携効率を飛躍的に向上

～NTT Com のクラウドと Office 365 を併用するハイブリッドクラウド基盤で堅牢性確保～

NTTコミュニケーションズ（以下「NTT Com」）は、株式会社資生堂（本社：東京都中央区、代表取締役社長 魚谷 雅彦、以下「資生堂」）からの受託により、資生堂の従業員が世界中から利用する、グローバル共通のクラウド型新コミュニケーション基盤を構築しました。この新基盤は、メール・スケジュール管理、電話会議、WEB会議、ファイル共有、チャット、BYOD（Bring Your Own Devices）などの様々なコミュニケーション機能を含みます。

NTT Comのグローバルに展開する企業向けクラウドサービス「[Bizホスティング Enterprise Cloud](#)」と日本マイクロソフトのOffice 365を併用する形で提供される新コミュニケーション基盤は、2015年1月より本格提供を開始しました。

### 1. 背景

化粧品メーカーとして89の国・地域で事業を展開する資生堂は、各地の生産拠点や研究開発拠点と各国の販売チームが相互に連携し、製品開発や調達、販売をすることによりグローバル展開を推進しています。これまでは国・地域、組織ごとに個別仕様で構築されたシステム同士を接続し情報連携を行っていました。そのため各国・地域、各組織が保持する情報の効率的な共有が難しく、情報伝達のスピードや稼働効率の面でコストの増加につながっていました。

NTT Comはこうした課題を解決するため、資生堂からの受託により、グローバルに均質なコミュニケーションサービスを利用できるクラウド基盤上に新たなコミュニケーション基盤を構築することとしました。

資生堂は、2014年4月から、新コミュニケーション基盤に含まれる「Lync Online」に対応するWEBカメラ搭載のパソコン端末の導入を決定するなど、基盤構築とともに周辺環境の整備を進め、約6カ月後の11月に新コミュニケーション基盤導入と自社パソコン端末1.1万台の一斉切り替えを実現しました。また切り替え後の利用者からの問い合わせ対応もNTT Comの全面バックアップのもと、混乱のないスムーズな業務用端末・システム導入に成功しました。その後新旧基盤の併用期間を経て、2015年1月より新コミュニケーション基盤全機能の本格提供を開始しています。

### 2. 新コミュニケーション基盤の導入効果

#### (1) グローバル共通基盤となり、コミュニケーション効率の飛躍的な向上

NTT Comと日本マイクロソフトが提供する新コミュニケーション基盤は、各国・地域、各組織共通のシステムとして構築されています。これにより、例えば、これまで社員のスケジュールを確認確保するには電話やメールで確認を取らなければならなかった状況が、

「Microsoft Exchange Server」上で膨大な社員のスケジュールの瞬時の把握や連絡先の共有、迅速な稼働確保が可能になりました。また、これまでは各国・地域、各組織が保有する資料・情報がそれぞれ固有のシステムで管理されていたため情報へのアクセスに時間を要していましたが、「Microsoft SharePoint Server」を活用することで、膨大な情報を共通の検索機能などで迅速に閲覧・入手することが可能となりました。

## (2) ハイブリッドなクラウド構成により堅牢性と利便性の両立を実現

新コミュニケーション基盤において、より細やかな運用が必要なメール・スケジュール管理機能（Microsoft Exchange Server）やファイル共有機能（Microsoft SharePoint Server）は、カスタマポータルからの柔軟な設定変更など、セルフマネジメントが可能なクラウドサービス「[Bizホスティング Enterprise Cloud](#)」上に構築しました。また、これらの機能は高度なセキュリティが求められるため、より機密性の高いプライベートネットワーク「[Arcstar Universal One](#)」経由で接続します。一方で電話会議やWEB会議、チャット機能「Lync Online」はOffice 365基盤を活用し、どこからでも接続可能且つ低コストでパブリックなインターネット回線を利用して接続します。このハイブリッド構成により、堅牢性と利便性の両立を実現しています。

## (3) [Bizモバイルコネク](#)の活用で、セキュアに、多様な働き方を実現

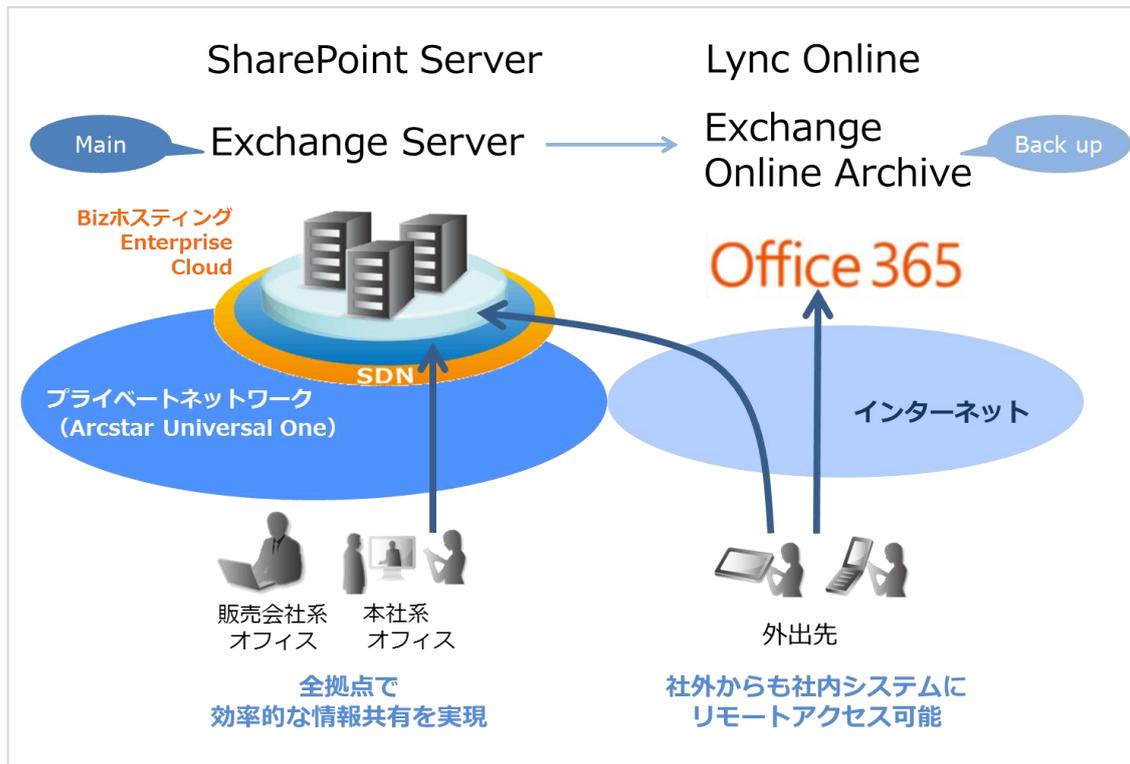
NTT Comの提供する認証サービス「[Bizモバイルコネク](#)」を活用することで、私有端末などからも外出先からメールや予定表のチェックができ、かつ利用端末に情報を残さないなど、社内外で活発に業務を遂行できる環境を実現します。端末種や場所にとらわれない効率的で多様な働き方を、セキュアなクラウド環境で実現しました。

## 3. 今後の展開

資生堂は2014年12月17日に発表した2015-2020年度の中長期戦略「VISION 2020」で掲げたとおり、2020年度に営業利益1,000億円超、ROE12%以上を達成するべく、IT投資の分野でも改革に取り組んでいます。

NTT Comは、「美しい生活文化の創造」という資生堂の企業理念の実現に向け、最速のスピードで経営改革を推進する資生堂のグローバル経営改革のパートナーとして、新コミュニケーション基盤を海外及びグループ会社へも提供します。資生堂がグローバルで効率的に業務ができるIT環境を確立し自社の部門間・事業部間のコミュニケーションスピードを飛躍的に高め、資生堂グループ全体の競争力向上につなげていきます。

<資生堂「新コミュニケーション基盤」構成図イメージ>



(参考)

Bizホスティング Enterprise Cloudは、NTT Comが世界9カ国/地域、11拠点に基盤を展開する企業向けクラウドサービスです。資生堂の新ICT基盤において、メールと予定表の統合機能（Microsoft Exchange Server/Exchange Online）を支えるIaaS（Infrastructure as a Service）としてご利用いただいています。

<http://www.ntt.com/bhec/>

(参考)

イメージ図内にある拠点間ネットワークには、NTT Comが世界196カ国/地域において提供する企業向けのネットワークサービス、Arcstar Universal Oneをご利用いただいています。

<http://www.ntt.com/vpn/>

(参考)

Bizモバイルコネクトは、オンプレミスからSaaSまでのさまざまな業務システムに社外から「簡単」かつ「安全」に接続できるリモートアクセス環境をクラウド型で提供します。

<http://www.ntt.com/mobileconnect/index.html>